

令和7年2月28日
16:30～18:00
伊丹市立昆陽里小学校

令和6年度第2回運営協議会 議事録

出席委員：8名

欠席委員：2名

陪 席：市教委1名

次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 内容
 - (1) 学校評価について
 - (2) 令和7年度学校教育目標と学校経営方針について
 - (3) 学校運営協議会研修会について
 - (4) その他
- 4 閉会

1 開会【委員】

2 会長あいさつ【会長】

- 学校運営協議会研修会に参加した。後ほど詳しくお話するが、各学校の学校運営協議会会長が参加され、各校の取り組みを発表された。その中で、池尻小学校の取り組みを紹介する「コミスクだより」を参考に、昆陽里小学校も何か形に残るものを作成し、家庭や地域に活動を広く知ってもらえないかと思っている。
- 任期満了につき、学校運営協議会の会長・委員については、今年度をもって退きたい。引き続き委員を務められる方や後任の会長には、がんばっていただきたい。
- 学校には「放課後学習会」のスタッフとして子どもたちに学習支援を行うという形で、これからも関わっていきたい。

3 内容

(1) 学校評価について【委員】

- ・事前にお配りしている「学校評価総括表」および「学校評価アンケート集計表」について、学校関係者から忌憚のない評価をいただきたい。「学校教育の中の『豊かな心』の育成」、「同じく学校教育の中の特別支援教育の推進と教職員の資質向上」、「教育環境の整備・充実」の3つに分けて順にお願いしたい。

- ・【会長】 数値が昨年度のままになっている部分があるので修正が必要。また、改善策として「…………の取り組みを行う。」や「…………の向上に努める。」などと記載されているが、ぼんやりしていて分かりづらい。具体的にどんな取り組みをするのか、どのように努めるのか、記載するようにすべきである。
- ・【会長】 「ICT」については、タブレットばかりを使いすぎると逆に学力が下がるという話も聞く。放課後学習会のプリント学習では正解できているのに、授業のテストでは不正解になっている子どもが多い。その理由の一つに「字が汚い」子どもが多い。字だけではなく、何事にも丁寧に取り組むことが必要と感じる。
- ・【委員】 タブレットの活用も大切だが、教科によっては紙と鉛筆を使って覚えることが必要ではないか。特に国語で、漢字を覚えたり文章を書いたりすることで身につくものがあると思う。
- ・【委員】 ICTの活用推進と子どもたちの視力の関係性はどうか。
- ・【花光校長】 特に今というわけではなく、ずっと低下している。ブルーライトの影響など、あると思う。
- ・【会長】 大人でも、本や新聞を読むよりテレビを見る方が楽である。知りたいことはスマホやタブレットで手に入れることができる時代であり、子どもたちに「本を読め」と言っても難しいところがある。
- ・【委員】 日々の連絡でタブレットを活用しているが、連絡が届くのが遅いときがある。配信が遅いと、塾や習い事に行っている日はその日のうちにできず、翌朝、登校前に宿題をするようなときもあるので、先生方も忙しいとは思いますが遅くならないように配信してほしい。
- ・【委員】 あいさつを丁寧にできるようになってほしい。毎年、松崎中学校の1・2年生に、トライやる・ウィークに関する講演会として働くことについていろんな話をしている。先日も、そのお礼の手紙をもらったが、漢字を正しく書けない、使えない生徒も多い。また、講演会の中で「あいさつの意味や必要性」についても話をしたところ、「そんな意味があったのですね。」などの感想を述べる生徒がいた。中学生になってからではなく、小学生のうちからしっかりとあいさつができる子どもになってほしい。先生方には、「あいさつしなさい。」という言葉だけではなく、どんなふうにすればお互いに気持ちの良いあいさつになるのか具体的に指導してほしい。
- ・【会長】 『『健やかな体』の育成』についての改善策は、具体的に書かれていて良いと思う。
- ・【会長】 アンケートの内容をもう少し絞っても良いのではないかな。
- ・【委員】 「教職員の資質向上」については、私たち委員も含め、学校外部の人間にとっては、どのような取り組みをされているのか一切見えない。先生方と交流できれば良いのではないかなと思う。
- ・【委員】 今月上旬に行われたオープンスクールで授業を参観したが、良かったと思う。子どもたちだけでなく、先生も一緒に授業を作っていると感じた。
- ・【委員】 地域と先生方との交流を進めたい。地域との交流について、学校や先生方はどのように考えているのか。地域との交流が「米作り体験」だけ？子どもたちの居場

所づくりのためいろいろな行事を企画・運営しているが、先生方にも少しでも見に来てもらい、子どもたちの様子を知ってほしい。実際に高齢化や核家族化がますます進み、地域は疲弊している。

- ・【委員】 先日行った餅つきなど、子どもたちの様子を見に少しの時間でもいいので見に来てほしい。

(2) 令和7年度学校教育目標と学校経営方針について【校長】

- ・【校長】 令和6年度と大きくは変えていない。変更点は、「3 重点目標」、「(2) 豊かな人間性を育てる心の教育の推進」の「② ……小中連携（カリキュラム連携）の推進」と「(4) 共感的な児童理解に基づく生活指導の充実」の「② 適切な睡眠時間の確保」を追加した。特に睡眠時間の確保については、先日、講師を招いて講演会を開催した。大変、有意義な講演会であった。また、本校以外の先生方や市教育委員会の指導主事、職員も参加されるなど興味関心の高さがうかがえるとともに、これからの子どもたちにとって重要な課題であると認識している。
- ・意見、質問等は特になし。

(3) 学校運営協議会研修会について

- ・【会長】 会の冒頭にもお話したが、学校運営協議会研修会に参加した。それを踏まえて、昆陽里小学校の学校運営協議会としてできるのではないかと考えた。具体的には別紙のとおりである。
年に5～10回の協議会ができるのであればもっと連携できるが、多く開催すれば良いというものでもない。実際には3回となるだろう。そのうち、第1回は学校運営協議会の方針など「1年間こういうふうにやっつこう。」といった内容、第3回は1年間のまとめや次年度の学校教育目標、学校運営方針についての協議となり、具体的な取組ができるのは第2回の1回だけである。そのような限られた時間の中でできることとして、池尻小学校のような「コミスクだより」を作成するのはどうか。子どもの居場所づくりに重点を置いて、毎年、PTAや地域に焦点を当て、情報共有したうえで作成、発行する。
- ・【委員】 学校運営協議会の委員を公募にしてみてもどうか。→【校長】 学校運営協議会は、何か活動する組織というよりも、学校をより良くするためにどんなことができるだろうか、というアイデアを出す部門である。また、個人情報のこともあり、誰でもというわけにはいかない部分がある。
- ・【委員】 第2回の学校運営協議会の内容として、熟議は良いのではないか。また、その内容を録画して保護者や地域の人たちが見られるようにするのはどうか。→録画、視聴は難しい。
- ・【委員】 学校、家庭、地域の三者が思っていることをぶつけ合う場があると良いのではないか。

(4) その他

- ・【委員】次期学校運営協議会委員の委嘱について説明。
- ・【会長】冒頭でも申し上げたとおり、今年度をもって学校運営協議会の会長・委員を退く。来年度の委員の方や後任の会長には、昆陽里小学校の子どもたちがより成長するためにがんばっていただきたい。今後は、放課後学習会のスタッフとして子どもたちに学習をとおして支援をしていきたい。これまでお世話になりました。

4 閉会